平成24年9月27日

PCBを使用して製造された電機機器等の判定基準表（ご参考）

当社が処理受託できるPCB廃棄物は、PCBの使用を前提として設計・製造された大型電気機器等(以下「PCB使用機器」といいます。)であって、一般に微量PCB廃棄物、コンタミ廃棄物や低濃度PCB廃棄物と呼ばれている、非意図的にPCBに汚染された機器等（以下「微量PCB廃棄物」といいます。）については処理及び登録の対象外とさせていただいております。

一般にPCB使用機器には高濃度のPCBが使用されており、トランス類であれば油量の50から60%、コンデンサ類であれば100%に相当するPCBが含まれていると考えられます。これに対し、微量PCB廃棄物に含まれるPCBの量は数ppmから数十ppm程度（1ppmは0．0001%）と非常に低い値となります。

PCB使用機器の判別方法のうち、主要なものとしては以下の方法がありますが、製造年だけではPCB判定が確定できない場合がありますので、必ず、型式や銘板記載事項により、確認していただくようご注意ください。

Ⅰ．製造時期による判別

PCB使用機器の判別の方法として、機器の製造年によるものがあります。メーカーによって若干の差はありますが、基本的には下表のような状況となっています。主に昭和30年から昭和47年にかけて製造された機器等にPCB使用機器が多数存在します。ただし、PCBが製造・使用されていた時期に製造された機器等であってもPCBを使用していない機器が存在することにご留意ください。

時期	状況
昭和5年以前	PCBが実用化されていない
昭和6年～昭和27年頃	海外メーカーがPCB使用機器を実用化
昭和28年～昭和30年頃	国内メーカーが海外からPCB油を輸入してPCB使用機器を製造
昭和30年～昭和47年	国産PCB製造開始により、国内メーカーによるPCB使用機器の製造が全盛
昭和48年～昭和49年頃	PCBの製造使用が中止され、一部の鉄道用機器のみ新規の製造が継続
昭和50年以降	新規のPCB使用機器の製造が完全に中止

Ⅱ．機器種別による判別

PCBが製造・使用されていた時期に製造された機器等であっても、機器種別によってはPCB使用機器でない可能性が非常に高いと思われるものも存在します。以下に種別毎に状況を整理します。

機器大分類	機器細分類	PCB使用機器の分布状況
トランス類	高圧トランス、低圧トランス	PCB使用機器が多数存在しますが、同時にPCBを使用していない機器もまた多数存在します
	リアクトル	
	計器用変成器	
	放電コイル	
	整流器	
	開閉器	PCB使用機器ではない可能性が非常に高いと思われますが、専門の分析機関で分析を行ってください。
	遮断機	
コンデンサ類	高圧コンデンサ、低圧コンデンサ	PCB使用機器が多数存在しますが、同時にPCBを使用していない機器も存在します
	サージアブソーバ	

Ⅲ．メーカー別判断基準

製造年や機器種別だけでは、PCB使用機器である可能性があることがわかっても、最終的な判断材料とはなりえません。国内主要メーカーが提供している機種別の判断基準により、確度の高い判断が可能となります。表の「PCB確定」欄に記載ある文字列が銘板等に表示されているものについては、PCB使用機器であることが確認できます。逆に「NON　PCB又は微量PCB廃棄物」欄（ここではPCBを使用していない機器を単に「NON　PCB」としています。）に記載のある文字列が銘板等に表示されているものについては、少なくともメーカーがPCBの使用を前提に設計・製造したものでないことが確認できます。

以下にメーカー別PCB使用機器判断基準を示します。なお、これらは各メーカーが提供しているものであり、今後追加・変更等がありうることを申し添えます。

メーカー別機器判別表（取得年月：2011-2-15）

三菱電機

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 ダイヤクロール	

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	ＫＬ－１ ＫＵＰ ＫＬ－２ ＫＡＰ ＫＬ－３ ＫＢＰ ＫＵＦ　ＫＥＰ ＫＡＦ　ＫＴＰ ＫＢＦ　ＫＡＬ ＫＥＦ　ＫＧＬ	ＫＴ ＫＵＳ ＫＢＵ ＫＯＳ ＫＰ ＫＡＳ ＫＬ－４　など
リアクトル	Ｚ３１３６５５ Ｚ３１３６５６ Ｚ３１３６５７ Ｚ３１３６５８ Ｚ３７７８１９	
トランス	型式からの判別は不可 （銘板に「不燃性油入」の表示）	
計器用変圧器，計器用変流器	ＦＨ　ＣＮＦ ＣＳＦ　ＣＬＦ ＣＦ　ＴＡ ＴＨＦ　ＨＳＦ	

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞ (2000kVA以下)052-712-1581 (2000kVA超過)0791-46-2384

※　この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

東芝（東京芝浦電気）

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 シバノール	ＭＰ式（コンデンサ）

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	Ｓ○○－○○○ （ＳＲ，ＳＲＲ，ＳＲＴ，ＳＲＴＲ など） ＰＦＣＤ ＣＤ	ＯＲ，ＯＲＲ，ＯＲＴ，ＯＲＴＲ， ＡＲ，ＡＲＲ，ＡＲＴ，ＡＲＴＲ， ＢＲ，ＢＲＲ，ＢＲＴ，ＢＲＴＲ， ＣＲ，ＣＲＲ，ＣＲＴ，ＣＲＴＲ， ＥＲ，ＥＲＲ，ＥＲＴ，ＥＲＴＲ， ＨＲ，ＨＲＲ，ＨＲＴ，ＨＲＴＲ など） ＭＳ
リアクトル・放電コイル	○○○－Ｓ○○ （ＸＴＲ－ＳＭ３０　など）	
トランス	Ｓ○○－○○○ （ＳＣ，ＳＣＲ，ＳＨＣ， ＳＣＦ，ＳＣＴＨ，ＳＣＴＷ， ＳＣＴ，ＳＣＴＲ　など） ＥＰＴ－Ｓ○○ （ＥＰＴ－ＳＭ１０Ａ　など）	ＨＣ，ＯＰ，ＣＷ，ＦＨ，ＦＰ， ＦＣ，ＰＳ，ＰＴ　など） ＳＩ○○－○○○ ＨＣＴＲ－Ｓ○○ ＨＣＲ－Ｓ○○ ＳＨ－○○○（1973年製以降）
計器用変圧器，計器用変流器	○○○－Ｓ○○ （ＡＭ－ＳＭ２０Ｂ　など）	

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

４．製造年月からの判別

機器の種類	ＰＣＢの可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９７２(S47)年まで	１９７３年(S48)以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞03-3457-4117

※　この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

日立製作所

2012.04.11一部変更

1．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度PCB機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 ヒタフネン	MP式（コンデンサ） PF式（コンデンサ）

2．型式からの判別

機器の種類	高濃度PCB機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	型式中に「J」　　TPB	（SOBーYDC，SOUーYDCRなど）
トランス リアクトル 計器用変圧器 計器用変流器	型式は「型」と「式」の構成で、 ○○・××　又は　○○ー×× 型　式　　型　式 型中に「J」 （HBJ-DYCE、HGJ-YYCC など）	（SOB-YDC、SOU-YDCR など） ※トランスの場合、式中の「J」は PCB非該当（　SI・　J3-70） 型　式 ※トランス以外の場合は不明

3．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度PCB機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞ 0294-55-1130

※　この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

ダイヘン（大阪変圧器）　　2012.04.18 下記【注】を追加

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃油 不燃性油	

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
トランス	不可	

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

４．製造年月からの判別

機器の種類	ＰＣＢの可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９５５年(S30)から １９７２年(S47)まで	１９７３年(S48)以降

【注】
『溶接機』（型式KPU-1000、KPC-500、KRC-500等多数）の中で昭和47年(1972年)以前に生産されたものは、PCBを含有したコンデンサを使用しているものがあります。
詳しくは下記連絡先又はダイヘンのホームページ（http://www.daihen.co.jp/environment02/env_40.html）で該当型式等をご確認ください。

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞06-6390-5513

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

指月電機製作所　　H24．12．17改訂

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	不燃性油 ＤＦ式 ＤＦ　ＣＡＰＡＣＩＴＯＲ ＤＦ　ＣＯＮＤ	乾式 ＭＰ式　ＳＨ式 ＭＰ　ＣＡＰＡＣＩＴＯＲ ＭＰ　ＣＯＮＤ

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器			非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	ＬＶ－１	ＨＦＴ	ＲＷＯ	ＨＥＴ
	ＰＰＡ	ＨＴＧ	ＲＺＯ	ＨＥＳ
	ＰＬ	ＫＫ	ＳＡＫ	ＫＯＤ
	ＤＦ	ＫＬ	ＳＡＳ	ＰＦ
	ＡＫ	ＫＴＤ	ＳＴＤ	ＰＨＦ
	ＡＬ	ＫＴＭ	ＳＴＭ	ＰＰＭ
	ＢＫ	ＫＴＱ	ＳＴＱ	ＰＰＫ
	ＢＬ	ＫＴＴ	ＳＴＴ	ＰＯＭＰ
	ＣＫ	ＫＴＵ	ＳＴＵ	ＲＨＫ
	ＣＬ	ＴＨＫ	ＴＨＳ	ＳＯＤ
	ＤＫ	ＲＡＫ	ＺＡ	ＳＯＭ
	ＤＬ	ＲＡＳ	ＺＨ	ＴＭＤ
	ＦＫ	ＲＤＦ	ＺＪ	ＴＭＰ
	ＦＬ	ＲＭＯ	Ｐ（右の『非PCB又は微量PCB機器』の型式は除く）	ＬＶ－２、３，４、５
	ＬＯＷＶＡＣ（1972年6月まで。それ以降は非高濃度）			
リアクトル 放電コイル	NON・PCB又は微量PCB機器			

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

４．製造年月からの判別

機器の種類	ＰＣＢの可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９６０年(S35)代から １９７２年まで	１９７３年(S48)以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞0120-888-453

※　この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

ニチコン（日本コンデンサ，関西二井製作所）

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	ＤＦ式　不燃性油	ＯＦ式 ＭＰ式

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器		非PCB又は微量PCB機器	
	ＤＦ式		ＯＦ式	ＭＰ式
進相低圧コンデンサ	ＳＰＦ・ＴＰＦ		ＰＦＣ	ＭＰＦ・ＥＭＰ・ＦＭＰ
高圧・特別高圧 コンデンサ	電力用	ＳＰＦ・ＴＰＦ ＴＰＡ・ＴＰＢ ＴＰＥ	ＰＦＣ	
	サージ吸収用	ＳＡＴ	ＳＡＣ	
	電気炉用	ＴＰＡ・ＴＰＢ ＴＰＥ・ＴＰＦ	ＰＦＣ ＨＯＣ	
電気機器用 コンデンサ	一般 機器用	ＴＰＦ・ＳＦ ＴＣＳ・ＴＣＢ ＴＥ・ＴＥＢ ＳＦＡＩ・ＴＰＥＩ ＴＰＦＩ・ＡＩＢ		ＮＭＰ・ＲＭＰ・ＯＭＰ ＥＭＰ・ＦＭＰ・ＭＣ ＰＭＣ・ＥＳＳ・ＭＳＡ ＰＳＳ・ＰＦＳ・ＣＳＭ ＣＳＰ
	特殊用		ＯＢ・ＯＳＣ ＯＣＢ	
リアクトル	ＳＲＤ		ＳＲ	

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

４．製造年月からの判別

機器の種類	ＰＣＢの可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９７２年(S47)３月まで	１９７２年(S47)４月以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞075-241-5316

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、
今後追加・変更がありうることを申し添えます。

松下電器産業

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	不燃性	

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	ＡＦ式	ＯＦ式 ＮＨ－Ａ式 ＮＨ－Ｃ式 ＭＰ式 ＭＦ式 ＳＨ式
リアクトル		
トランス	非PCB又は微量PCB機器	

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

４．製造年月からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９５３(S28)年から １９７２(S47)年３月まで	１９７２年(S47)４月以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞(コンデンサ)0763-33-5510 （変圧器)0561-54-9314

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

日新電機

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 ＡＦ式	ＰＣＢ確定条件以外

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	ＡＦ式 ＡＦＰ式 不燃性油含浸 三塩化ビフェニール含浸 五塩化ビフェニール含浸	ＰＣＢ確定条件以外
リアクトル	不燃油入 ＡＦ式	ＰＣＢ確定条件以外
トランス		ＰＣＢ確定条件以外
計器用変成器，放電コイル	型式記号が「Ａ」で始まるもの 不燃油入 ＡＦ式	ＰＣＢ確定条件以外

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

４．製造年月からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９７２年(S47)まで	１９７３年(S48)以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞075-864-8913

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

愛知電機

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃油変圧器 冷却方式ＬＮＡＮ	

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
トランス	不燃性油変圧器(1965年以前) 不燃油変圧器(1966以降) 冷却方式ＬＮＡＮ(1966以降)	

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

４．製造年月からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９７２年(S47)まで	１９７３年(S48)以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞0568-35-1121

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

富士電機製造

2011.07.14一部変更

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性絶縁油入 不燃性油入 富士シンクロール油入 富士不燃性合成絶縁油入	

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
トランス	不燃性絶縁油入 富士シンクロール油入 カネクロール油入	
計器用変成器，計器用変流器，計器用変圧変流器	不燃性油入 富士シンクロール油入 ＰＣＢ（ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾌｪﾆﾙ）使用	

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

４．製造年月からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９７２年(S47)まで	１９７３年(S48)以降

<u>※銘板に上記表の表記がない場合でも、PCB使用機器である可能性があります。</u>
ご不明な場合は製造番号、型式、製造年等をお調べいただき、下記問い合わせ先までご連絡を頂きますようお願い申し上げます。

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞0120-24-9194

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

北陸電機製造

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油入 不燃性絶縁油入 富士シンクロール油入 カネクロール油入 不燃性合成絶縁油入	

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
トランス	不燃性油入 不燃性絶縁油入 富士シンクロール油入 カネクロール油入 不燃性合成絶縁油入	

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

４．製造年月からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９７２年(S47)まで	１９７３年(S48)以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞076-475-1124

※　この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

マルコン電子(二井蓄電器(株)、東京電器(株))　　2011. 3. 25一部変更

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 ＤＦコンデンサ シバノール入	

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器			非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	ＰＦＣＤ	Ｄ	～ＡＫ	ＭＰ又はＳＨと表示されているもの
	ＣＤ	ＳＤＡＢ	～ＡＤ	
	ＮＬＤ	ＳＤＢ	～ＡＳＴ	
	ＭＣＤ	ＳＤＲ	ＳＲＴ－ＡＩＮＲ	
	ＮＣＤ	～ＦＣＤＥ	ＳＲＴＲ	
	ＦＣＤ	～ＦＣＤ	ＳＲ－	
	ＳＳＤ	～ＳＤＳ	～ＥＤ	
	ＮＨＤ	～ＳＤＦ	～ＥＤＳ	
	ＳＤ	～A―～(一部の製品に該当)	～ＥＤＦ	

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

４．製造年月からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９７２年(S47)7月まで	１９７２年(S47)8月以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞ケミコン山形株式会社　0238-84-2134

※　この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

高岳製作所

2012年9月27日改訂

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油入	

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
トランス	型式記号に「・・Ｕ・・・」が含まれるもの（ただし、「ＵＭ」の記載のあるものは除く）	型式記号「ＵＭ」のもの （ただし、一部PCB含有機器もあり。 「不燃性」の表記のあるものはPCB含有）
計器用変成器	ＰＴ・ＧＰＴ(1957～1958) ＣＴ(1958～1959)	
変成器用ブッシング	ＭＫＨ，ＭＫＥＨ１，ＭＫＥＨ２	

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

４．製造年月からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９７２年(S47)まで	１９７３年(S48)以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞03-6371-5430

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

中国電機製造

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油入	

２．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	6A001～6A999 S6A001～S6A999 N6A001～N6A999 R6A001～R6A999 SN6A001～SN6A999 SR6A001～SR6A999 PN6A001～PN6A999 **AがB,C,D,E,F,G,H,M,X と記載機器もPCB確定。**	
	4J001～4J999 4J1001～4J1999 N4J001～N4J999 R4J001～4J999 **JがL,N,P,R,Sと記載機器もPCB確定。**	
	3T001～3T999 N3T001～N3T999 R3T001～R3T999 SN3T001～SN3T999 SR3T001～SR3T999 **TがU,Vと記載機器もPCB確定。**	
	NM001～NM999 NM5001～NM5999 5Y001～5Y999 W6301～W6399 W7001～W7999 W8001～W8999 W9001～W9999	
トランス	6K-1081,6K-1101,6K-1102 6K2409～6K2412 6K-2383～6K-2386 6K-2828,6K2829 3780～3790 3849～3856 6K-4398～6K4400 6K-4402～6K4407 6K-4432 6K-4441～6K4443 6K-6772～6K6773 10059 3K-1137～3K1138	

3．製造年月からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９７２年(S47)まで	１９７3年(S48)以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞050-5524-1356

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

帝国コンデンサ

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 不燃油	

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	型式記号の第１文字がＡ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅ，Ｆで表示のときはＰＣＢ入例）ＡＦＷ，ＣＦＷ	

3．製造年月からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９７２年(S47)８月まで	１９７２年(S47)９月以降

（注） 帝国コンデンサは、既に廃業してしまっているため、以下の型式に該当しない場合であっても
PCB含有を否定できません。不明な場合はPCB濃度分析を行ってください。

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

明電舎

１．銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 ミュークロール	

２．型式からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ		
トランス リアクトル	型式中に「Ａ」 （ＮＩＴＡＸ，ＮＩＫＡＸ，ＮＩＲＳＡＸ，ＮＩＴＳＡＸ，ＮＩＴＡ，ＮＩＲＡＸ，ＮＩＲＧＡＸ，ＮＩＲＳＧＡＸ，ＮＯＲＡＸ，ＮＯＲＳＡＸＹ，ＮＯＴＡＸ，ＮＯＲＡＸＹ，ＮＩＦＡ，ＮＩＦＡＸ，ＮＩＬＡＸ　など）	
計器用変圧器	型式中に「Ａ」 （ＰＡＸＥ，ＰＡＸ）	
計器用変流器	型式中に「Ａ」 （ＣＮＰＡＸ，ＣＡＰＸ）	
整流器	S03B-2×2×6（3VH6030） S03B-2×1×6（3VH6030） S03B-2×2×6（2VH6100） S03B-2×3×6（3VH6126） S03B-2×2×6（3VH6469） S03B-3×6×6（1MR5106） S03B-3×6×6（1MR5107） S03B-4×4×6（2V6094） S03B-4×4×6（2V6236）	

３．製造番号からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

４．製造年月からの判別

機器の種類	高濃度ＰＣＢ機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	１９５４年(S29)から １９７２年(S47)まで	１９７３年(S48)以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合せ先＞055-929-5601

※　この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。